



建築ふくい

家づくり 街づくり 人づくり

一般社団法人 福井県建築組合連合会

11・17予算要求決起大会 **2**面
 応急仮設木造住宅の実技講習会 **3**面
 木づかい塾 **4**面
 木造建築工事安全指導会 **5**面

<http://www.kenchiku-fukui.com>
 e-mail:info@kenchiku-fukui.com



発行/(一社)福井県建築組合連合会 〒910-0859 福井市日之出5丁目4番7号 電話 0776-54-2615 FAX 0776-54-8878

発行人/角田義幸 編集/教宣委員会



笠川 賢人氏 撮影

年頭にあたり

一般社団法人 福井県建築組合連合会

会長 角田 義幸



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、ご家族ご健康にて新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃は、連合会の事業推進にあたりまして、ご支援、ご協力、ご指導いただき改めて御礼申し上げます。

コロナウイルス感染症も5類に引き下げられ、少しずつではありますが、コロナ前の状況に戻りつつあると感じます。人と人との交流、コミュニケーション、情報交換がコロナにより、少なからずつつあり。これが当たり前にならないようにして頂きたい、支部組合・ブロック活動においても、活気あふれる取り組みを目指していただきたいと思います。

組織拡大については、コロナ以降厳しい状況にあります。特に、青年部の存続には各支部・ブロックの向きの支援が必要です。どうしたら存続できるのか、今後の建築組合を担っていただく若い人たちが、情熱と誇りを持って取り組んでいけるよう力添えをいただきたい。連合会も青年部との意見交換を踏まえてどう支援するべきか進めてまいります。

組合員皆様の生活、人と人との親睦やつながりを大切にすることを第一に考え、技術向上を図るとともに、組合加入のメリットを発信しながら組織拡大を目指して取り組みます。皆様のご協力をお願いいたします。

今なお続く、ロシアによるウクライナ侵襲も、終わる気配もなく、私達の生活にも大きな影響を与えています。物価高、電気代、ガソリン代、建築資材の高騰と厳しい状況にあります。国のほつてもいろいろな支援策が出されており、高い省エネ性能を有する新築住宅、また住宅の省エネリフォームなどに関する補助制度などが実施されています。積極的に活用していただき仕事に活かしていただきたいと思います。

上がらないのは、労務単価です。国のほうでも賃金アップに向けて取り組みつつありますが、私達も声を上げ取り組んでいきたいと思います。

また、色々と建築にかかわる法改正が行われており、脱炭素社会の実現に向けて、2025年4月より省エネ住宅基準の適合化が義務化されます。省エネ住宅の取り組みについては、今後の住宅建設には必要なものです。断熱材施工の技術不足も指摘されていますが、県連でも事業者向け・施工者向けの講習会を開催しております。少しでも多くの方に受講していただき、仕事に役立てていただきたいと思います。

昨年、木造応急仮設住宅建設に向けて、杭打ち及び土台設置実習訓練研修会を開催させていただきました。今日までに、建て方・設計施工管理など一連の流れの研修会を開催することができました。今後「応急仮設管理部」においてしっかり対応をしていきます。組合員の皆様には今一度応急仮設住宅建設に伴う労働者供給登録のご協力をお願いいたします。

今年も、組合員皆様に少しでも多くの情報を機関誌・ホームページを活用して発信していきます。

3月16日には、北陸新幹線が開業します。多くの方が福井に來られ地域経済が活性化することを願っております。本年も皆様にとって、健康で明るい年でありますようご祈念申し上げます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

第27回全国青協幹部会議



笑いも交えながらの活動報告

11月19日・20日に名古屋で開催された第27回国青協幹部会議に参加してきました。

全体学習では副議長の講義を聞くことができました。SNSやYouTubeの活用方法や、仕事の取り組み方、組合活動に参加し始めるための経緯など、笑いも交えながら楽しく聞くことができました。

各地協の活動報告や、取り組み報告の発表の時間も設けられ、各々が拳手によって発言しました。私も北信越の取り組みなどを発表しました。

懇親会も開催され、全国の方と名刺交換などをして1日目が終わりました。2日目は全体学習として、ドローン技術に関して講師を招き、色々な話を聞くことができました。

今回参加して、改めて全国の青年部の熱意を感じる事ができました。1日目の副議長の話は特に共感することができ、若手不足といった問題は数年も前から始まっていることに驚きました。

副議長が地元で役員会を開いても、出席者は0からのスタートだったみたいです。

11・17 予算要求決起大会に参加して



全議員に対し要望書をしっかりと受け渡す様子

11月17日に東京・日比谷大音楽堂において予算要求決起大会に参加してきました。前日より天候悪化が予想されて、少々暗い気持ちで両員やヤツケを持って当日出かけて行きました。案の定、東京駅に着いた頃から雨が降り、会場の日比谷大音楽堂に着いた時には土砂降りになってしまいました。

その頃には雨も降り止み、全交差点通行止めなどの通行規制の中、ずぶ濡れの体も少しづつ乾いてくるのが気持ちよく、特に途中建築中の作業員の目線に勇気付けられました。

本年度のメインスローガン「建設国保の育成・強化、賃金・単価の引き上げ、物価高騰から仕事と暮らしを守る」の実現を訴えてきました。それにも、メモを見ながらのあいさつの中で前をひいて話をされる議員には力強さを感じたのは会場全員の共感でした。

理事 佐々木 剛

令和6年度

国保組合予算確保に向けた要請行動を実施

11月28日・29日に来年度国保組合の予算確保に向けた全建総連全体会議、省庁要請、並びに地元国会議員への要請に角田会長と私が参加しました。

福井県連としては、山崎正昭参議院議員、高木毅衆議院議員、稲田朋美衆議院議員、滝波宏文参議院議員を訪問し、「公費助成の拡充」、「国保組合に対する国庫補助の現行水準の確保」そして「建設国保の育成・強化」を要望するともに、福井県建築業界の現状と課題などの意見交換をいたしました。今後は、要請訪問以外でも継続的な情報交換をおこない、それぞれの立場で実行できることを整理していくこととなりました。

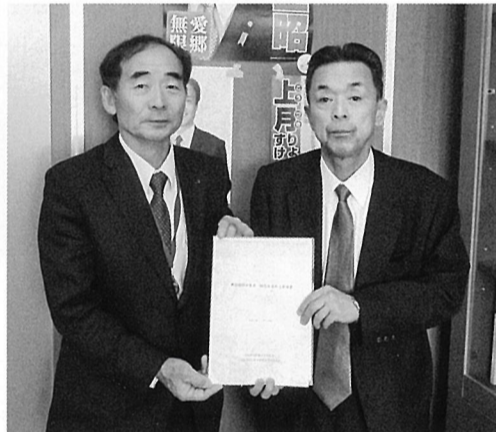
全建総連予算要求行動においては、全体会議の後、林野庁に対して「国産木材の安定供給」「建築物の木造・木質化の促進」を中心に要請訪問をおこないました。

今後も粘り強い活動とともに、地元国会議員に対しての継続的な情報提供をおこなっていきたく考えています。

事務局長 鈴木 芳 暢



高木衆議院議員



山崎参議院議員秘書



滝波参議院議員秘書



稲田衆議院議員

ご購入申し込み、お問い合わせは 福井支局 0120-247-010

北陸の業界紙

日刊 建設工業新聞

http://www.kensetsu-news.co.jp

発行所 北陸工業新聞社 本社 金沢市若草町2-42 TEL(076)241-8361(代) 福井支局 福井市成和1丁目2105番地 支局 富山・新潟

応急仮設木造住宅の杭打ち 土台設置訓練開催

11月21日、越前市柳原公園にて、全木協福井県協会主催の応急仮設木造住宅の杭打ち・土台設置訓練が行われました。これは応急仮設木造住宅の基礎部分となる杭打ちの実技講習会です。



手際よく実技体験をする参加者

福井県における実技講習会は今回で2回目となり(前回令和元年度)、杭打ちの講習会は初開催となります。基礎といえばコンクリートで施工されるのが一般的です。

10月21日から22日にサンドーム福井で開催されたフクモクフエスに建築組合連合会青年部のスタッフとして参加してきました。



体験する親子で賑わうブース

フクモクフエス2023に参加して

初日から青年部のブースは人が絶えませんでした。(笑) 青年部は今回、住宅相談会を行い、新築や修繕・リフォーム、家づくりに関する相談を受け答えました。その傍らで家族や子供たちに青年部恒例の木工作体験(笑)もただの木工体験じゃありません!無料の(夕夕

越前おおの産業と食彩フェア2023

今年も大盛況でした。11月4日・5日に大野結ステーションで開催された職業能力開発協会支援の大野産業フェア物作り体験に奥越ブロックとして、すのこ作りに参加させてもらいました。

の木工体験ですよ!何を作っても無料!こんなに地域密着して貢献している協賛組合なんて他にはないです!やはりサンドーム福井のど真ん中でやるべきでしたね!むしろ目玉イベントと言っても過言ではないでしょう(笑)

私は2日間ともイベントに参加しましたが、応援のスタッフに以前青年部部長をしていた方や共に青年部を盛り上げてくれた仲間が来てくれてすごく嬉しかったです、みんな地元福井でがんばっているんだなあと励みになりました。

次回開催の時には、反省点や改善点を考慮し、更により良い青年部恒例のイベントとして地元福井に定着させてみるのも面白いかもしれませんね!

令和5年度 技能競技大会



時間内に実力を出しきれるように取り組む選手たち

11月26日に福井県産業技術専門学院にて技能競技大会が開催された。昨日までの風雨が嘘のように晴れ渡る。紅葉を楽しむ休日としては、こ

時間配分、まさに真剣そのもので、試験本番の立ち合いをしているようだった。まずは図面の作成。8月に実施した講習会の時

んな天気は最後であるうなあ:と、不謹慎にも思ってしまった。いやいや選手の皆さんにとつては、半月後に迫る検定試験のための大切な大会。試験を想定しての

図面作成が終わると、材料の墨付け及び木造り工程に移る。電気カンナでやればすぐできるのに(笑)と思つが、イヤイヤそこは匠を目指すものにとつては手カンナで。これだけは外せない。

墨付けと木造りが終わると、墨通りに手刻み。こども電気丸ノコやトリマーなんか使つと、すぐにできるし楽ちゃんイヤ

は、図面を書くのに午前中いっぱい掛かった。それがどうでしょう、早い人は20分で作成。遅くても30分以内には皆さん完成させた。3カ月に亘る講習会の効果が出た瞬間!

イヤやはり目指すのは匠。手ノコとノミで刻んでいく。墨半分を残し刻んでいくのが匠の技。残すところ30分とのア

住宅の始めから完成までの工程が、この技能検定の内容に集約されていると思つ。材料の段取りから番付。墨付けに刻み。組立が終わると最後の仕上げ。プレカットが当たり前の時代、昔ながらの技術を再確認し実践。

「休日が潰れた」と、不謹慎な自分が恥ずかしく思ってしまった。

今年も大盛況でした。11月4日・5日に大野結ステーションで開催された職業能力開発協会支援の大野産業フェア物作り体験に奥越ブロックとして、すのこ作りに参加させてもらいました。

く、子どもにも指導をしていました。指導通りにしてくれない子どものお母さんは、「うちでも私のお話を聞かないので困っているんですよ、どうしたらいいですかね」とか、高齢の人は、「初めてノコギリやカナツチを使うのでよろしくお願ひします」といって、体験してもらつと大変しようずで「これからも自宅で簡単なこととはやってみようかな」といっていました。体験中の会話も弾み、体験者の人には短い時間ですが楽しい時間を過ごしてもらえたのではない

かと思ひます。組合員にはイベントを通じて自分の技術のPRやコミュニケーションの経験の場として、これからもこのような事業は大切なことではないかと改めて感じました。最後に、2日間でした。最後に、今年は大変暑く大汗をかいての参加となりました。指導していただいた役員の皆様ご苦勞様でした。



指導を聞いて丁寧に作業をする子どもたち

技対委員長 杉谷光由

副会長 竹島正和